

2020 年度事業報告 (案)

1. 第 91 回日本農学大会の開催
新型コロナウイルス感染症の影響で 4 月 5 日の大会は中止となった。7 名の日本農学賞、読売農学賞の受賞者には 4 月 8 日に賞状、賞牌、副賞等をお送りした。
2. 2020 年度日本農学会シンポジウムの開催
2020 年 10 月 3 日に統一テーマ「水と農学」をオンラインで開催し、7 件の講演を行った。
3. 2019 年度日本農学会シンポジウム講演要旨の「農業および園芸」(養賢堂) への掲載
7 名の講演者の講演要旨を 95 巻 1 号の特集記事として掲載した。
4. その他
 - ・日本農学会理事会、(公財) 農学会理事会、日本農学アカデミー理事会と共同で「日本学術会議・第 25 期新規会員任命に関する要望書を支持する声明」を发出。
 - ・(公財) 農学会－2020 年度第 19 回日本農学進歩賞を共催。
 - ・アグリビジネス創出フェア、アグロ・イノベーションを後援。
 - ・日本学術会議公開シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課と今後の展望」を後援。

2020 年度の会議内容は以下の通り

会議名	開催日	主な議事
総会	第 3 回 2 月 8 日 10 : 00～	<p>審議事項：</p> <p>第 1 号議案 2019 年度事業報告 出席会員の異議なく承認された。</p> <p>第 2 号議案 収支決算報告および監査報告 収支決算報告について報告があり、次いで、監事から配布資料に基づき、2019 年度の監査報告が行われ、出席会員の異議なく承認された。</p> <p>第 3 号議案 公益法人化について 配布資料に基づき、公益法人化について説明があり、公益法人化を検討することに対し、出席会員の異議なく承認された。</p> <p>第 4 号議案 役員(理事及び監事)選任の件 定款第 12 条に沿って理事(会長候補者)および理事(副会長候補者)について、第 13 条に沿って監事について選挙が行われた。選挙の結果、理事(会長候補者)として 西澤直子氏、理事(副会長候補者)として大杉立氏、大政謙次氏が選任された。また、監事として、大山卓爾氏、與語靖洋氏が選挙後の総会決議により選出された。</p> <p>報告事項：</p> <p>1.2020 年度事業計画 2020 年度の事業計画について報告があった。</p> <p>2.2020 年度収支予算 2020 年度の収支計画について報告があった。</p> <p>3.2020 年度役員、常任委員および会員 (代表者)、運営委員について 配布資料に基づき、2020 年度の役員、常任委員および会員 (代表者)、運営委員について報告があった。以下常任委員 (所属学会) 中</p>

		<p>川貴之 ((公社)日本獣医学会) 渡邊壯一 ((公社)日本水産学会)、中村英光 (日本農薬学会)、齊藤勝晴(日本草地学会)、渡邊学 (日本動物育種遺伝学会)、宍戸雅宏(日本土壌微生物学会)</p> <p>4.その他</p> <p>1) 読売新聞社との面談について 西澤会長から配布資料に基づき、読売新聞社との面談について報告があった。</p> <p>2) ホームページの見直しについて 日本農学会の英文ホームページの作成について報告があった。</p> <p>3) 日本学術会議公開シンポジウムについて 日本農学会が後援している日本学術会議公開シンポジウム「生命科学分野におけるジェンダー・ダイバーシティに関する課題と今後の展望」の開催について報告があった。</p> <p>5. 日本農学賞受賞者および読売農学賞受賞候補者の決定 日本農学会農学奨励規程 (日本農学賞授賞規程) に沿って行われた選考会において7名の日本農学賞受賞者が決定し、読売農学賞の受賞候補者として推薦することが報告された。 以下受賞者 (推薦学協会) : 以下受賞者 (推薦学会) : 尾添嘉久(日本農芸化学会)、帰山雅秀(日本水産学会)、津村義彦(日本森林学会)、増本隆夫(農業農村工学会)、南澤究(日本土壌肥料学会)、森田茂紀(日本作物学会)、山田昌彦 (園芸学会) 【五十音順】</p>
理事会	第10回 1月21日 みなし理事会*	<p>審議事項 :</p> <p>第1号議案 事業報告の承認について 第2号議案 収支計算書類等の承認について 第3号議案 次期理事 (会長・副会長)、監事候補者を総会に提案する 全員一致で承認され、監事から異議がない旨回答があった。 * 理事会の決議をメール会議にて実施</p>
	第11回 2月12日 みなし理事会*	<p>審議事項 :</p> <p>第1号議案 代表理事 (会長) の及び副会長の選定の件 会長 : 西澤 直子 副会長 : 大杉 立、大政 謙次 全員一致で承認され、監事から異議がない旨回答があった。 * 理事会の決議をメール会議にて実施</p>
	第12回 5月19日 WEB 会議	<p>審議事項 :</p> <p>第1号議案 新常任委員の承認 常任委員、庶務担当 渡邊学 (動物育種遺伝学会)、企画担当 齋藤勝晴 (日本草地学会)、会計担当 宍戸雅宏 (日本土壌微生物学会) が紹介され、全員一致で承認された。 第2号議案 2020年度シンポジウムについて コロナの今後の状況も考え、10月3日にシンポジウムをどのような形で開催するかなど議論された。最終的な結論は、7月上旬に改めて協議する。 第3号議案 公益法人移行委員会の設置について</p>

		<p>公益法人移行検討委員会を設置し、委員長を前副会長、渡部終五氏に就任していただく事が提案され、全員一致で承認され委員会メンバーは委員長を中心に検討する。</p> <p>第4号議案 2021年度総会・2020年度(9,12月)理事会・運営委員会の日時について 下記日程に決定した。</p> <p>2021年度 第4回日本農学会総会 2021年2月13日(土) 2020年9月理事会・企画委員会・運営委員会 9月11日(金) 2020年12月理事会・企画委員会・運営委員会 12月11日(金)</p> <p>協議・報告事項</p> <p>1) 2020年度日本農学賞についての報告 資料に基づき、授賞式中止までの経緯の報告があった。 2020年度受賞者について、来年度の日本農学会大会で、2021年度受賞者とともに表彰等を行う方向で今後検討していく。</p> <p>2) 卓越研究DBへの掲載完了報告 平成17～28年度日本農学賞受賞論文要旨87件が3月4日に「発見と発明のデジタル博物館」のデータベースに掲載されたことが報告された。</p> <p>3) 2021年度シンポジウムテーマ募集 2021年度のシンポジウムテーマは、今年のシンポジウムの開催方法あるいは延期などが決定してから募集する。</p> <p>4) その他 常任委員は引継ぎ書を確認し担当ごとに引継ぎを進めていく。</p>
	<p>第13回 6月4日 WEB会議</p>	<p>審議事項： 第1号議案 読売新聞社からの検討依頼に対する回答について 読売新聞社からの検討依頼について、大杉副会長から三輪前会長ご意見を伺って作成された回答(案)が提示され、詳細について議論された。それらを大杉副会長がまとめ理事、監事等の最終確認後、読売新聞社に回答書することが承認された。</p>
	<p>第14回 9月11日 WEB会議</p>	<p>審議事項： 第1号議案 2020年度シンポジウム開催方法、プログラムの決定 新型コロナウイルス感染症の状況から完全オンラインで午後のみ開催とすることや、プログラムの決定、広報について提案がなされ、全員一致で承認された。</p> <p>協議・報告事項</p> <p>1) シンポジウム準備状況 現在までのシンポジウムの準備状況について、タイムテーブルや告知状況などの報告があった。</p> <p>2) 公益法人移行委員会報告 現在までの公益社団法人への移行の検討、準備状況について、内閣府開催の相談会での指摘やそれに対応するための定款の変更の検討、事務書類作成状況などの報告があった。移行による様々なメリット、デメリットを踏まえた上で議論を進め、来年度の総会の議案として提出する移行の可否については12月の理事会で最終</p>

		<p>判断することとなった。</p> <p>3) 第12回、第13回日本農学会理事会議事録について 第12回、第13回日本農学会理事会議事録について報告があった。</p> <p>4) 読売新聞社との面談報告、協賛企業・団体の推薦依頼について 読売新聞社との面談内容や協賛企業・団体の推薦依頼状況（9月11日時点で5学協会、63企業）について報告があった。推薦依頼に関する学協会からの質問に対しては、運営委員会にて西澤会長から経緯の説明をしてもらう。</p> <p>5) 日本農学賞推薦応募について 2021年度日本農学賞受賞候補者の推薦および第4回一般社団法人日本農学会総会および日本農学賞選考会の案内について報告があった。例年通りの推薦を募集し、現時点では対面での総会と選考会を予定することとし、懇親会については案内文に記載しない。</p> <p>6) 2020年度第1回日本農学会運営委員会の議題整理 2020年度第1回日本農学会運営委員会の議事次第に基づき、議題と報告者の分担について確認された。</p> <p>7) 2020年度第3回日本農学会企画委員会の議題整理 2020年度第3回日本農学会企画委員会の議事次第に基づき、議題について確認された。</p> <p>8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本農学会でのZoom契約の状況の報告と農学会が共催するシンポジウムで使用するについて提案され認められた。 ・農学におけるコロナ禍の研究活動、学会活動への影響やそれに対する議論の状況について、日本農学会としてその把握や対策を模索することが提案され、今後は検討する。
	<p>第15回 10月15日 みなし理事会</p>	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 日本学術会議が内閣府に提出した要望書を支持する声明の発出について （一社）日本農学会理事会、（公財）農学会理事会、日本農学アカデミー理事会として要望書を支持する声明をホームページで発出することが承諾された。</p>
	<p>第16回 12月11日 WEB会議</p>	<p>審議事項：</p> <p>第1号議案 2021年度事業計画（案）について 資料に基づき説明があり、日本農学大会は4月6日（火）に開催することが提案され全員一致で承認された。</p> <p>第2号議案 2021年度収支予算（案）について 通常通りに事業が開催されることを前提とした予算が全員一致で承認された。</p> <p>第3号議案 2021総会（選考会）議事と開催方法について 総会・選考会はオンライン開催とすること、総会議事が全員一致で承認された。</p> <p>第4号議案 2021年度シンポジウムテーマについて 2021年度のテーマは「アフター・ウィズコロナの農学（仮）」とす</p>

		<p>ることが全員一致で承認された。</p> <p>協議事項・報告事項</p> <p>1.2020年度事業報告・収支決算報告(案)について資料に基づき説明があった。</p> <p>2.第92回(2021年度)日本農学大会について今後コロナの状況を考えて方法を検討する。</p> <p>3.公益法人検討委員会より報告後1年をかけて検討していく旨報告があった。</p> <p>4.新型コロナの影響に関するアンケート調査についてアンケートを行うことが報告された。</p> <p>5.その他</p> <p>2020年度第2回日本農学会運営委員会の議題整理</p>
運営委員会	第1回 9月11日 WEB会議	<p>1.今期常任委員の紹介があった。</p> <p>2.2019年度日本農学会評議員会・総会の報告がされた。2019年度収支計算書について報告があった。</p> <p>3.日本農学大会中止等の報告があった。</p> <p>4.2020年度シンポジウムについてオンラインでの開催の説明と参加登録のお願いがあった</p> <p>5.2021年度日本農学賞受賞候補者の推薦および(一社)日本農学会総会について説明があった。</p> <p>6.2021年度シンポジウムテーマ募集について今後テーマの募集をおこなうとの報告があった。</p> <p>7.読売新聞社との読売農学賞企業協賛についての経緯説明があった。企業協賛依頼についてあらためて加盟学協会への理解と協力をお願いすることとなった。</p> <p>8.会員、運営委員および2021年度の常任委員担当学会について報告があった。</p> <p>9.次回の運営委員会(12月11日(金)15時から開催予定)について、新型コロナウイルス感染症の状況に大きな改善がみられなければ、今回同様Web(Zoom)会議とする旨説明があった。</p>
	第2回 12月11日 WEB会議	<p>1.2020年度第1回日本農学会運営委員会議事録(案)が承認された。</p> <p>2.2020年度事業報告(案)資料に基づき説明があった。</p> <p>3.2020年度収支決算報告(案)資料に基づき説明があった。</p> <p>4.2021年度事業計画(案)資料に基づき説明があった</p> <p>(1)2021度シンポジウムテーマについて10月2日に開催。テーマは「アフター・ウィズコロナの農学(仮)」に決定。今後、トピックスを募集するのでご協力をお願いがあった。</p> <p>5.2021年度収支予算計画(案)資料に基づき説明があった。</p> <p>6.2021年度社員総会および日本農学賞選考会について</p>

		<p>オンライン開催とするが決定された。</p> <p>7. 2021 年度会員(学協会代表者)・運営委員・常任委員について 会員、運営委員および 2021 年度の常任委員担当学会について報告があった。</p> <p>8. 2021 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順 厳正な抽選により推薦学会の発表順が決定された。</p> <p>9.その他 新型コロナの影響に関するアンケート調査について 資料に基づきアンケートの協力依頼があった。</p>
2020 年度 企画委員会	第 1 回 2019 年 12 月 2 日	<p>1.企画委員会立ち上げ メンバーの紹介があった。</p> <p>2.講演タイトル・内容・講演者について 資料に基づき協議した。</p>
	第 2 回 7 月 28 日 WEB 会議	<p>1.シンポジウム開催方法について 完全オンライン配信で行うことになった。配信は ZOOM ウェビナーを使用する。</p> <p>2.シンポジウム開催時間、参加方法、プログラムについて 開催時間を 13 時開催～17 時終了とし、講演 20 分、質疑交代 5 分に短縮する。参加方法は登録制にすることで進める</p> <p>3.講演要旨について 当日販売がないので、冊子の部数を少なくする。シンポジウムに参加する方のために講演要旨を WEB（無料）で公開する方法を考える事となった。</p> <p>4.広報活動について ポスターの配布と WEB での案内を行う。登録先（申し込み）の URL,QR コードを掲載、公開する。</p> <p>5.その他 常任委員(現段階では在京の委員のみ。状況に合わせて対応)は事務室に待機する</p>
	第 3 回 9 月 11 日 WEB 会議	<p>1.広報活動 ポスター配布、加盟学協会の HP への掲載、日本農業新聞掲載など</p> <p>2.2020 年度シンポジウムに関わる全体スケジュールを決定した。</p> <p>3.2020 年度シンポジウム・タイムテーブルを作成した。</p> <p>4.講演要旨の作成、公開について 講演要旨は 10 月 1 日に日本農学会のホームページで公開。シンポジウム終了後削除知ることとなった。</p> <p>5. その他</p>
公益法人移行検討委員会	第 1 回 8 月 25 日	<p>1.これまでの経緯と今後の流れについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡部先生が発起人となり理事会の要請で委員長に任命され委員会が発足。 ・2020 年 4 月より検討をはじめ、公益財団法人農学会と公益社団法人日本水産学会の法人化の流れや規則を参考に申請書類のたたき台を作成。

		<ul style="list-style-type: none">・ 2020 年 9 月 11 日の理事会にて、現状と概要を報告し公益社団法人化についての可否をご審議いただく予定。・ 2020 年 12 月 11 日の理事会 での審議をへて 2021 年 2 月の社員総会での最終決定を目指す。 <p>2.公益法人化の申請書類について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 法人事業についての確認。・ その他の申請書類については委員会で分担して作成する。 <p>3.定款の変更について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 前回の定款の制定（平成 29 年 10 月 14 日）から日は浅いが、公益社団法人化にあわせて定款の見直し案の作成と理事会へ提案について検討する。
--	--	---